

●社会性報告

お客様とのかかわり

荒川化学グループは、お客様に満足していただける企業として、製品への品質保証を強化するとともに、誠実に情報公開を行っています。

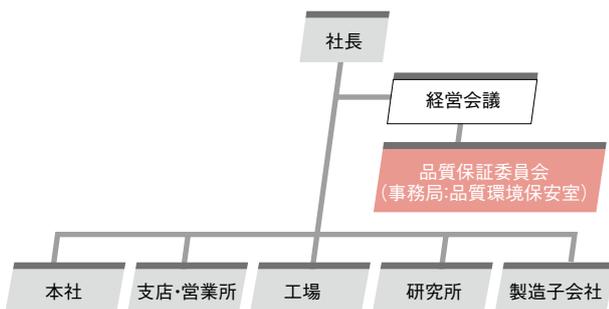
1 品質保証、お客様満足 満足していただけることが、 企業としての使命です

品質保証体制

●品質保証委員会

荒川化学グループでは品質担当役員が委員長を担う品質保証委員会を、関連部門長(生産統轄部副統轄部長、品質環境保安室長、研究所長、資材部長、営業支援グループリーダー)をメンバーとして、年1回、定例的に会議を開催しています。この会議では、前年度の活動実績(品質保証体制、品質監査、クレーム・不合格)の報告および当年度の計画を審議しています。

■荒川化学グループの品質保証体制図



品質方針

- 製品の開発から廃棄に至るすべての段階で、社会の要求に適合し、顧客の信頼と満足が得られる製品とサービスを提供する

2003年12月1日

取締役社長

末村 長弘

- 顧客満足を高め、業績向上に向けて品質マネジメントシステムの有効性を継続的に改善する

2007年11月15日

品質担当役員 常務取締役

中尾 光良

●クレームへの対応

お客様からの品質クレームに迅速・的確に対応するため、品質クレーム処理基準を定めて運用しています。これは、お客様に信頼感を抱いていただくことで荒川化学の信用を維持し、製品の品質や関連する業務を改善することを目的としています。

●品質監査

品質保証規定に基づき、毎年、品質環境保安室が荒川化学、製造子会社、製造委託先、原材料メーカーの品質監査を実施しています。結果は書面により、改善に関する命令・勧告・助言を行います。荒川化学の社内監査は、ISO9001の内部監査にて実施しています。

●ISO9001 (品質マネジメントシステム)

荒川化学は、2008年3月、工場ごとに取得していたISO9001を全社に拡大統合し、品質保証体制を強化しました。それ以降、品質環境保安室が事務局となり、部門ごとに選任されたISO委員とともにプロセス(顧客関連、設計開発、購買、製造)ごとに会合を行い、お客様に満足してもらえる製品を提供するために品質マネジメントシステムの改善に取り組んでいます。

荒川化学グループの製造子会社であるペルノックス、高圧化学などもISO9001を認証取得しており、2008年度も維持審査を受け合格しました。

海外の製造子会社もISO9001の認証取得を進めています。

■荒川化学グループのISO9001認証取得状況

| 社名 | 登録番号 | 認証取得日 | 維持審査実施日 |
|------------|---------------------|-------------|------------------------------|
| 荒川化学 | JQA-0788 | 1995年2月17日 | 2008年8月4-6日 2009年1月27-30日 |
| ペルノックス | JQA-1441 | 1996年11月1日 | 2008年10月20-22日 |
| 高圧化学工業 | JQA-QM5263 | 2000年9月14日 | 2008年7月14-15日 |
| (海外製造子会社) | | | |
| 南通荒川化学 | 00107Q12555R0S/3200 | 2007年7月27日 | 2009年1月6日 |
| 梧州荒川化学 | 0302Q10509R1M | 1999年11月23日 | 2008年7月17-18日 |
| 台湾荒川化学 | TW97/11053QA | 1997年10月21日 | 2008年6月6日 2008年12月5日 |
| 廈門荒川化学 | 206811 | 2007年1月15日 | 2008年12月22-24日 |
| 荒川ケミカル(タイ) | AJA02/5261 | 2002年6月13日 | 2008年4月2日 |



顧客認定制度

電子機器メーカー各社はグリーン調達基準を定めています。富士工場、小名浜工場およびペルノックスに加え、2008年度は新たに大阪工場と研究所が、ソニー株式会社の環境保全推進活動の一環である「グリーン パートナー環境品質認定制度」に基づき、認定されました。



研究所



大阪工場



富士工場



小名浜工場



ペルノックス

化学製品の情報提供

●GHS (Globally Harmonized System for Classification and Labelling of Chemicals) への対応

2003年7月、国際連合から勧告されたGHS(化学品の分類および表示に関する世界調和システム)は、世界的に統一されたルールに従って化学品を危険有害性ごとに分類し、その情報をラベルの表示や製品安全データシートで提供することが示されています。

GHSは各国で導入され、日本では2006年12月に労働安全衛生法が改正されました。荒川化学では法令に従って製品ラベルの見直しを終了しました。



製品ドラムへ貼付



ラベル

●製品安全データシート(MSDS)

PRTR法に関わる特定化学物質や、労働安全衛生法に関わる通知対象物質を含有する製品については、法律でお客様への製品安全データシート(MSDS)の提出が義務づけられています。

MSDSの記述内容は国内規格のJIS Z 7250Iに標準化されていますが、労働安全衛生法およびJISがGHSに整合させるために改正されたため、それに対応しました。

荒川化学グループでは、2009年度は、PRTR法の改正に対応するためにMSDSの見直しを進めています。また、法で義務づけられている化学物質のみならず、すべての製品についてMSDSを整備し、提供しています。



製品安全データシート

●緊急連絡カード(イエローカード)

化学製品輸送時の万一の事故に備えて、緊急連絡カード(イエローカード)をタンクローリーの運転手に携行させています。イエローカードは、(社)日本化学工業協会の「物流安全管理指針」「緊急連絡カード(イエローカード)の作成要綱」に関する指針に従って作成したもので、事故発生時の応急措置、災害拡大防止措置や通報内容を明記したものです。

このカードで運送会社への教育を行うとともに、運転手に携行の徹底を図っています。また、容器・包装品につけるラベルに指針番号や国連番号を追加表示した「容器イエローカード」にも対応しています。



イエローカード(表)



(裏)

2 情報公開 企業活動の情報提供に 取り組んでいます

中国の製紙技術交流シンポジウムで講演

2008年5月20日と21日、中国で紙・板紙生産量が第1位である山東省の済南市で、第2回日中製紙技術交流シンポジウムが開催され、荒川化学の製紙薬品事業部と南通荒川化学から4名が参加しました。

会場は山東軽工業大学で、参加者は日中合わせて180名、講演は16件で、環境保全に関するものが過半数を占めました。研究所の平野グループリーダーが「日本の製紙用薬品の市場と開発動向」と題して発表を行いました。中国の製紙産業市場において、大学とコンタクトを取ることができた有益なシンポジウムとなりました。



日本の製紙用薬品の市場と開発動向を講演

「e-よこ・ミュージアム逍遙」 荒川歴史館の開放

2008年11月22日と23日、大阪市の東横堀川水辺再生協議会(略してe-よこ会)主催の「e-よこ・ミュージアム逍遙」が、神農祭に合わせて開催されました。逍遙とは散策やそぞろ歩きといった意味です。

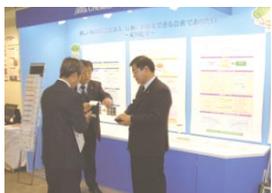
荒川歴史館もこの企画に賛同して「松やにミュージアム」として、一般参加者に開放しました。93名が訪れ「松の神秘」(DVD)を上映して説明を行い、ロジンの荒川化学をアピールすることができました。



左:「e-よこ・ミュージアム逍遙」パンフレット
右:「荒川歴史館」松やにミュージアムの掲載状況

紙パルプ技術協会年次大会への出展

紙パルプ技術協会主催の紙パルプ年次大会が、「地球環境について貢献する紙づくり…」をテーマに名古屋国際会議場で開催されました。荒川化学は新製品「ポリテンション」を発表し大きな話題となりました。環境対応を目的とした古紙回収



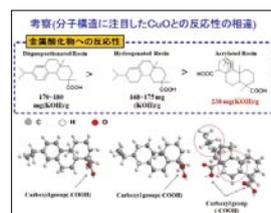
「ポリテンション」の紹介

率・クローズド化率の上昇などにより、薬品は効果を発揮しがたい環境にある中で、「ポリテンション」は、あらゆる抄紙環境に効果を発揮します。

マイクロ接合・実装技術シンポジウム で発表

2009年1月29日と30日に開催された第15回「エレクトロニクスにおけるマイクロ接合・実装技術」シンポジウム(主催:溶接学会)において、「ロジンと鉛フリーハンダ用金属との反応の時間・温度依存性」と題する論文を研究所の久保さんが発表し、「研究奨励賞」を受賞しました。

この発表は、フラックス用樹脂として長年使われているロジンと環境に配慮した鉛フリーはんだ金属との反応を定量的に示し、その活性作用と分子構造および酸性度との関係を明確にした内容で、今後のはんだ研究の発展に大きく寄与すると評価されました。また「ロジンの荒川化学」という知名度向上にもつながりました。



講演での発表資料

JPCAショーへの出展

2008年6月11日から3日間、東京ビッグサイトにおいて「JPCA SHOW 2008」が開催され、出展しました。貴金属高騰に対応した「低銀はんだ」、CO₂排出を考慮した「低融点はんだ」や、自動車関連・半導体バンプ形成用「クリームはんだ・プリコートはんだ」、並びに低発泡鉛フリーはんだ対応洗浄剤に重点を置き、ブース内では非常に活発な意見交換が行われました。



大型モニターを使ったプレゼンテーション

インターネプコン・ジャパンへの出展

2009年1月28日から3日間、東京ビッグサイトにおいて「インターネプコン・ジャパン」が開催され、出展しました。環境に配慮した製品として、フラックス洗浄システムでは、鉛フリーはんだ対応洗浄剤、フロー用パレット治具洗浄剤、メタルマスク洗浄剤など「パインアルファシリーズ」を展示し、廃液削減や低VOC対応など、荒川化学の環境配慮技術をアピールしました。



製品・技術を紹介するセミナー